

3月6日(木)の夜、碧南市役所で「碧南市まちづくりの担い手育成講座 へきなんまちづくり★スクール（略称マチスク）」第3回を開催しました。参加者は、受講者とスタッフを含めて18名でした。

この日のテーマは、「話し方・伝え方講座」。前半は、「この講座で身に着けたいこと」や「どんな場面で活かしたいか」をみんなでシェアしたあと、座学で「伝え方のコツ」を学びました。休憩を挟んで後半は、グループに分かれて実践編。学んだことを生かして、一人一人が「90秒スピーチ」に挑戦したあと、相互にアドバイス&コンサルティングし合い、グループの代表者が全員の前でスピーチしました。

かわらばん vol.3

3月6日(木) 19:00~21:30 碧南市役所にて

第3回「話し方・伝え方講座」

1. チェックイン

全員で輪になって「今日の講座で身に着けたいこと」「学んだことをどんな場面で役立てたいか？」を共有しました。

- ・端的にわかりやすく伝えたい！（会議、報告、報告書、通りすがりにホワイトボードをぱっと見ただけで…）
- ・職場で若い子に圧を与えず、おとなしい子から意見を引き出す伝え方。
- ・高齢者や子ども、状況が違って伝わるワードは？
- ・いろんな世代に伝わるやわらかい言葉
- ・就職活動でうまく伝えたい
- ・飲みの席で笑いをとりたい
- ・会議でオチがあるといい
- ・娘に想いをうまく伝えるには？
- ・勉強しない子どもにどう伝えるか？
- ・上司にたてついたときの伝え方
- ・興味がなさそうな人に興味を持ってもらうには？
- ・話し手の気分を害さずに話題を変える方法 などなど



2. レクチャー「伝え方のコツ」

TAKEZO からプレゼンテーションのコツについて学びました。

そもそも何のためのプレゼン？
動かして、なんぼ。

「理解してもらう」は
ゴールではない！

「みんなに」では刺さらない
ターゲットは誰？

相手が何に関心があるか？
何を求めているか？

届きやすい順番
PREP

- ①Point（結論）
- ②Reason（理由、最大3つ）
- ③Example（事例）
- ④Point（結論 念押し）

とにかく試してみてください！
場数も大事！
プレゼンは進化できますよ！



短く伝える

人はあなたの話を
聞いていない！

話を構造化！

ロードマップを示す

全体像と、今どこの話を
しているか示すと聞きやすい

つかみ、オチ
キーワード

最初と最後で心をつかむ！
印象に残るメッセージも大事！

ビジュアルを使って
伝わりやすく！

デザイン×イメージ

読み原稿はダメ
自分のコトバで

熱量で伝える！

自分の体験や背景は強い
エピソードで伝える

差別化

五感を刺激し
世界に引き込む

アイスブレイク

衣装や小物も効果的

3. 実践編「90 秒スピーチに挑戦！」

グループに分かれ、1人1人が「90 秒スピーチ」に挑戦！まずは各自で「わたしのすき！」など話すテーマを決め、PREP 法などを使って準備をしたあと、順番にスピーチ。その後、スピーチを聞いて感じた「評価」や「改善点」をみんなで率直に意見交換（相互コンサルティング）しました。



4. グループ代表スピーチ

最後にグループ代表が参加者全員の前でスピーチしました。



5. 講評

最後に小池市長と TAKEZO より講評！



みんなが笑顔！みなさんのお話のテーマの「わたしのすき」は表情で伝わると感じました。また、出だしの言葉ですごく食いつく！私もこの手法、使いたいのと思いました（笑）！

小池市長



「コンテンツ（伝えたい内容）」と「デリバリー（届け方）」の両方が掛け合わさって初めて「いいプレゼン」になります！

TAKEZO

アンケートより（気づいたこと・発見したこと） 人の話を聞くと色々な気づきがありました／自分が話す時のクセや問題点を知ることができた／ターゲットは誰をより一層明確に！とにかく「短く」をモットーにする／プレゼンは何回も練習した方がいいと実感／言いたいこと、伝えたいことをスリムに熱量を持って話す。最初に自分の伝えたいことを話す…最高の学びでした ほか

発行 & 連絡先: 碧南市役所地域協働課

TEL : 0566-95-9872

FAX : 0566-41-5412

E-mail: tiikika@city.hekinan.lg.jp